

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	4036	(H.24)No.	4036
-----------	------	-----------	------

事務事業名	消防団拠点施設整備事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
消防本部	消防救急室(消防団担当)	森本 功	

会計区分	事業コード	452801
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	消防費	消防団拠点施設整備事業
項	消防費	(小事業名)
目	消防施設費	消防団拠点施設整備事業

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	2	安全で安心な地域づくり
	施策	2	消防・救急
	小施策	1	消防体制の充実・強化
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
地域の防災拠点施設として整備し、災害対応の強化を図ります。
事業内容
消防団の拠点施設である消防ポンプ庫及びコミュニティ消防センターの整備を行う。 ・新規消防団組織への消防ポンプ庫等の新築 ・老朽化した消防ポンプ庫等の改築 ・農業集落排水施設及び公共下水道施設への接続

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)	H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)	
主な事業の実績・計画	・箕曲分団百合が丘地区消防ポンプ庫新築工事 (工事請負費 10,330千円) ・八幡地区コミュニティ消防センター農業集落排水接続工事 (工事請負費 1,349千円)		・消防ポンプ庫改築 1棟7,500千円 三谷短野地区コミュニティ消防センター農業集落排水接続工事 1件 1,700千円	・消防ポンプ庫改築 1棟7,500千円 市街地第2部コミュニティ消防センター公共下水道接続工事 1件 1,700千円	・消防ポンプ庫新築又は改築 1棟 7,500千円	

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費	11,679千円		9,200千円	9,200千円	7,500千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債	11,200		8,800	8,800	7,100
その他()					
一般財源	(0) 479	0	400	400	400
人工数					
職員	0.20人		0.20人	0.20人	0.20人
臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 1,540千円	0千円	1,540千円	1,540千円	1,540千円
+ 総事業費	(0千円) 13,219千円	0千円	10,740千円	10,740千円	9,040千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
百合が丘地区消防ポンプ庫の設置により、平成17年度から進めてきました住宅地(桔梗が丘、梅が丘、すずらん台、つつしが丘、百合が丘)への消防団拠点施設の整備が完了し、消防活動体制の強化が図られました。今後は、老朽化した消防ポンプ庫等の改築を進める必要があります。	地域と連携しながら用地確保等を進め、老朽化した消防ポンプ庫の改築を計画的に進めます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	消防施設等の整備・充実により消防対応力の強化を図りました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	
災害に迅速・的確に対応するため、継続して消防団拠点施設を整備していく必要があります。	

6. 事務事業の取組に関する主な市の計画

--